

メイド・イン長岡の誇り

東洋大留学生 就業体験を報告

「溶接作業 価値ある仕事」

東洋大の留学生が、長岡市内の事業所でインターンシップ（就業体験）を行った。成果を報告する会合が市内のホテルで開かれ、体験した18人が工場での製造や、ケーブルテレビ局での販促物作りに携わった感想を述べた。

東洋大は、留学生の日本での就職を進めるため地方でインターンシップを行っており、外国人材の受け入れに積極的な長岡で初めて実施した。中国、インドネシアなど出身の留学生が2月23日から滞在。印刷会社や製造業、市役所など10カ所に分かれて3日間体験した。

同28日の報告会では、留学生

が受け入れ先ごとに発表し、工場で溶接作業をしたマレーシア出身の男子学生は「難しいからこそ価値のある仕事だと思っ

た。働く人のプライドが感じられた」と述べた。

学生を受け入れた鉄骨の加工、製造をする企業の担当者は「学生はものづくりに興味があり、積極的に質問をしていた。国内外を問わず優秀な人材が欲しいので良い機会になった」と話していた。



インターンシップの感想を発表する東洋大の留学生＝長岡市東坂之上町1